



# 株式会社日本触媒

2015年3月期第2四半期決算説明会



2014年11月7日



日本触媒

# 長期経営計画

## 「新生日本触媒2020」の進捗状況と 2014年度業績見通しについて

---

代表取締役社長  
池田全徳

# 目次

1. 長期経営計画「新生日本触媒2020」の概要
2. 個別事業動向
3. 2014年度業績見通し
4. 経営計画の進捗
5. 利益還元策

## 用語解説

SAP： 高吸水性樹脂  
AA： アクリル酸  
AES： アクリル酸エステル類  
EO： 酸化エチレン

# 1. 長期経営計画「新生日本触媒2020」の概要

## 2020年のあるべき姿

	売上高	経常利益	ROA	新規製品売上高*
2020年度 長期目標：	5,000億円	500億円	9.5%	470億円
2016年度 中期目標：	3,930億円	340億円	8.5%	290億円

## 基本指針と事業戦略の方向性

### 基本指針

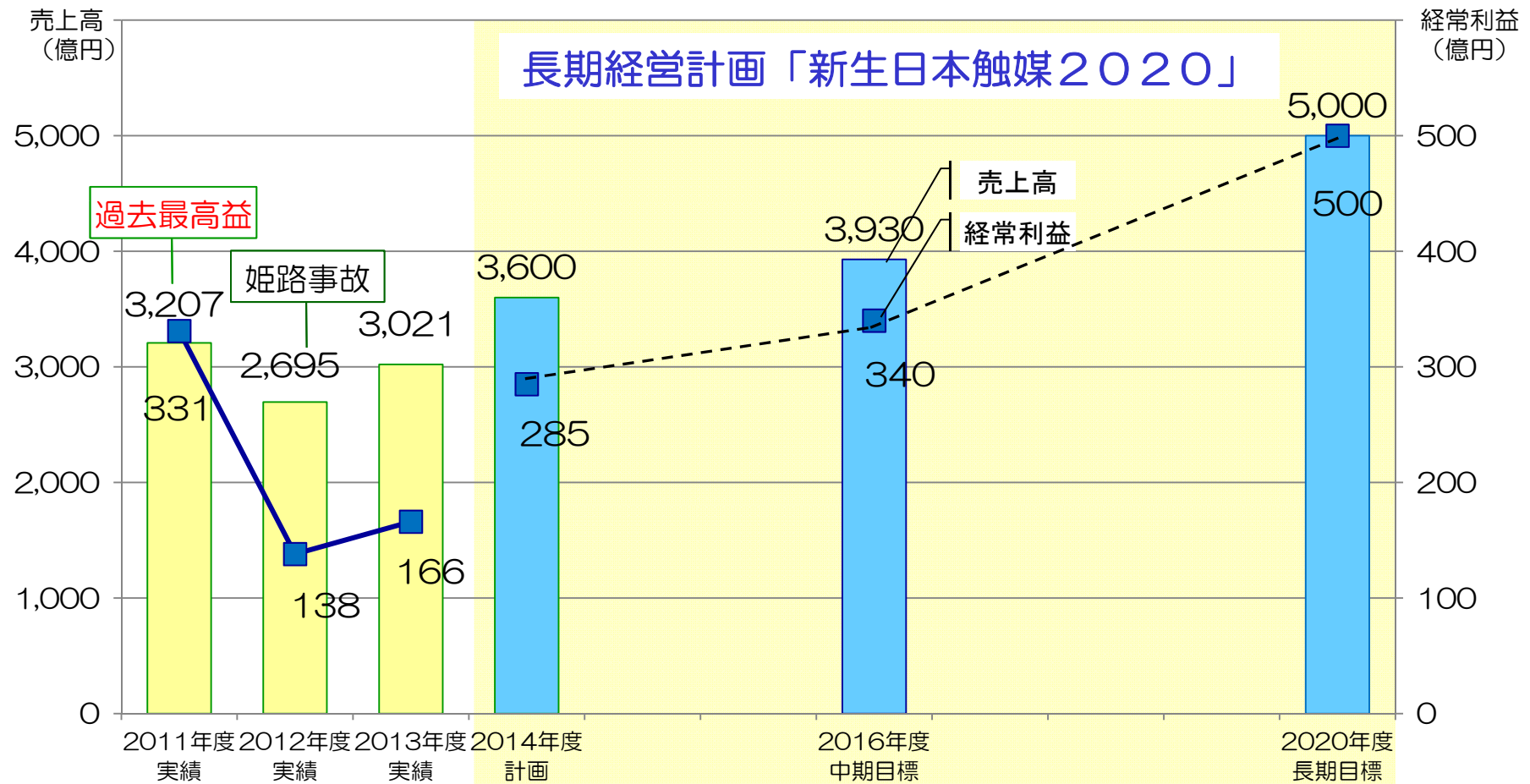
- ◇安全・安定な生産活動
- ◇売上よりも収益性を重視

### 事業戦略の方向性

- ◇既存事業・コア製品の  
一層の強化
- ◇新規事業の早期立ち上げ、  
新製品の速やかな上市

\*新規製品売上高：上市から5年以内の製品売上高の合計

# 1. 長期経営計画「新生日本触媒2020」の概要



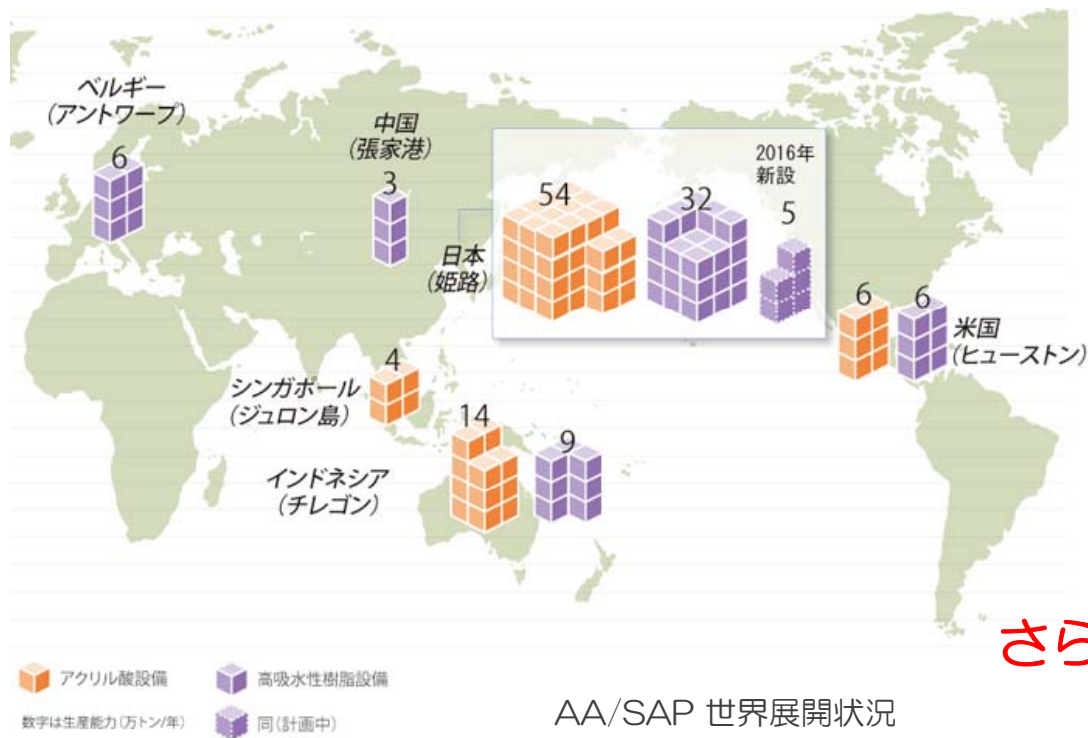
中期および長期目標前提条件：  
 国産ナフサ価格 65,000円/k, US\$=100円、EUR=130円

## 2. 個別事業動向

### 1) AA/SAP

#### 長期経営計画における事業基本戦略

- ◆ 高吸水性樹脂は世界トップレベルのシェア及び技術を堅持
- ◆ アクリルモノマー事業もトップを走るグローバルプレーヤーを目指す
- ◆ 持続的成長及びグローバル展開を可能とする競争力を維持・強化



AA/SAP 世界展開状況

#### 増設計画の進捗

生産能力<計画確定分>

単位: 万トン/年

	現状	計画	合計
AA	78	-	78
SAP	56	5 2016年6月 完工(姫路)	61

さらなる増設を計画中 ⇒ 順次決定へ

## 2. 個別事業動向

### 1) AA/SAP

#### AA：需給動向

需要 世界需要 約450万トン（2013年推定）  
中期的に年率5%程度の成長を想定

供給 2014-5年に中国を中心に大幅な能力増強計画（需給は軟化を想定）  
増設計画 世界合計： 240万トン/年  
うち中国ローカル： 150万トン/年

#### 当期の進捗

設備稼働状況 各拠点高稼働

2014年7月：姫路 AA 8万トン/年 立ち上げ

安全、安定操業の追求

- ・策定した設備安全対策を確実に実施、継続中
- ・AA/AES生産設備の安全対策を、国内・海外グループ会社に水平展開中



AA 8万トン/年プラント

## 2. 個別事業動向

### 1) AA/SAP

#### SAP：需給動向

需要 世界需要 約200万トン（2013年推定）  
中期的には年率6～7%の成長を想定

供給 既存大手以外の新興メーカーも参入・増強を計画  
2013年 増設世界合計 32万トン/年（当社グループを含む）  
2014年 増設計画世界合計 25万トン/年（中国ローカル除く）

#### 当期の進捗

設備稼働状況 各拠点高稼働

顧客層の充実/多様化の加速

2016年6月：姫路 SAP 5万トン/年 増設予定

- ・ 1系列当りの能力アップ実証
- ・ 生産性向上の最新技術を立証



姫路製造所



## 2. 個別事業動向

### 2) EO

#### 長期経営計画における事業基本戦略

- ◆ 選択と集中、成長市場への進出により事業基盤を強化し、今後ともコア事業として安定したキャッシュフローを創出する

#### 当期の進捗

高級アルコール（ソフタノール®）：界面活性剤

- ①高い浸透力 ②低粘度による扱い易さ ③良好な生分解性  
⇒ 家庭用洗剤向けに需要拡大

増設検討 ⇒ EO海外展開も視野に

水溶性ポリマー（アクアリック®）：洗剤ビルダー

洗剤向けに需要拡大

開発に注力 ⇒ 採用拡大中



洗剤

## 2. 個別事業動向

### 3) 機能性化学品

#### 長期経営計画における事業基本戦略

- ◆ ワールドワイドでトップサプライヤーとしての地位を確立
- ◆ 独自製品・技術による市場開拓と成長市場への参入
- ◆ 自社原料をベースとした世界に通じる高機能化学品群の拡充により収益面での一つの柱に育成

#### 当期の進捗

光学材料用アクリル樹脂（アクリビュア®）：液晶フィルム材料

耐熱性・透明性に優れ**需要増大**

**2016年夏：現状1.5倍の9,000トン/年に増強予定**

N-フェニルマレイミド（PMI）：樹脂耐熱性向上剤

高評価で**需要増大**

**2014年2月：ほぼ倍増の18,000トン/年に増強**

アクリル酸特殊エステル：塗料用原料

自動車用塗料で**需要増大**

**2014年4月：姫路・川崎2拠点生産体制確立 計60,000トン/年に増強**



アクリビュアプラント

## 2. 個別事業動向

### 4) 新エネルギー・触媒

#### 長期経営計画における事業基本戦略

- ◆ 新エネルギー関連材料分野を次世代事業の柱の一つとする
- ◆ クリーンエネルギー分野のスペシャリティ材料市場で業界標準となる  
技術・製品の開発と市場開拓の加速

#### 当期の進捗

##### リチウムビスフルオロスルホニルイミド (LiFSI)

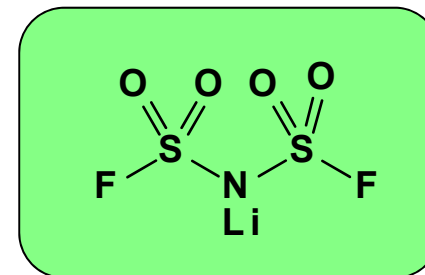
リチウムイオン電池用の高性能電解質、長寿命化添加剤  
今期から製品化 → **民生用**での採用、**自動車電池用評価も本格化**

##### 固体電解質ポリマー (ICP：イオンコンダクティブポリマー)

電気自動車、定置用のリチウムポリマー電池材料  
**販売拡大中、次世代品も開発中**

##### 燃料電池用ジルコニアシート・セル

SOFC（固体酸化物形燃料電池）の心臓部材  
顧客要求への対応、設備改良中 → **次世代品で増販へ**



LiFSI

## 2. 個別事業動向

### 5) 新規事業・開発品



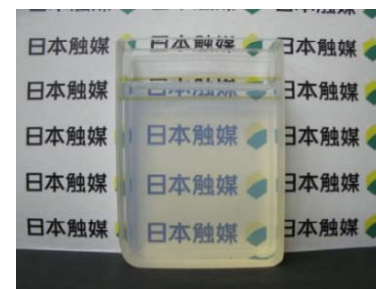
#### 新規事業

- ◆ 新たな事業ドメインとして健康・医療分野への**参入準備中**
- ◆ **戦略投資**の活用

#### 開発品

##### シリコニアナノ粒子分散液

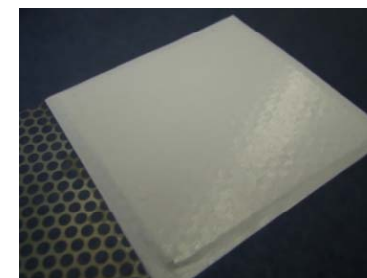
有機溶媒／樹脂に対する分散能に優れ、  
高濃度でも極めて高い透明性を維持する屈折率調整剤  
ディスプレイの高画質化・省電力化に貢献  
→ **試験販売開始**



シリコニアナノ粒子分散液

##### 新亜鉛電池材料

【アニオン伝導膜一体型亜鉛電極】  
安全・安価な亜鉛二次電池に使用可能  
亜鉛結晶の成長を効果的に抑制するため、  
従来よりも電池寿命を大幅に延ばす



新亜鉛電池材料

### 3. 2014年度業績見通し

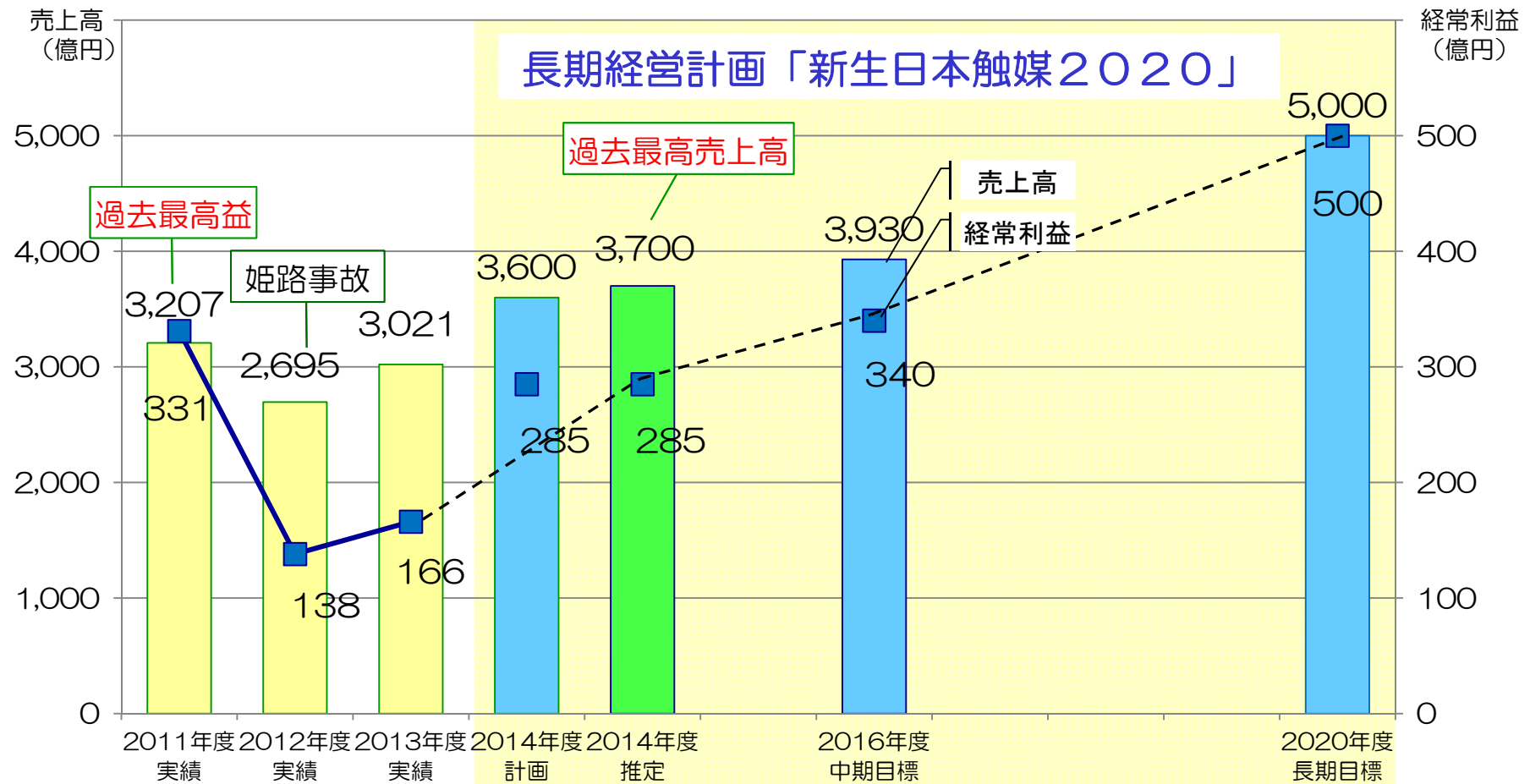
#### 業績見通し

(単位：億円)	2013年度	2014年度			
	通期実績	上期予想 (8/6発表値)	上期実績	下期予想	通期推定
売上高	3,021	1,770	1,793	1,907	3,700
営業利益	138	95	103	157	260
経常利益	166	105	121	164	285
当期純利益	105	70	75	125	200
ROA (総資産経常利益率)	4.4%	5.3%	6.1%	8.2%	7.1%
為替レート	US\$ = 100円 EUR = 134円		US\$ = 103円 EUR = 139円	US\$ = 102円 EUR = 135円	US\$ = 103円 EUR = 137円
国産ナフサ価格	67,300円/kL		70,500円/kL	70,000円/kL	70,200円/kL

#### 計画達成へ向けて

- ・ 安全安定な生産活動
- ・ 適正なスプレッドの確保
- ・ 全社連携による新規製品の速やかな上市
- ・ 収益改善活動の継続
- ・ 経費削減

# 4. 経営計画の進捗



上期：ほぼ回復  
下期：完全回復

計画、中期目標および長期目標前提条件：  
国産ナフサ価格 65,000円/k, US\$=100円、EUR=130円

## 5. 利益還元策

### ＜基本方針＞

事業拡大や企業体質の強化等を総合的に勘案しつつ、  
連結業績の動向を見通し、中長期的水準の向上を目指した配当を行う

#### 2013年度配当

経常利益 166億円  
当期純利益 105億円

円/株	中間	期末	合計
普通配当	8	8	16

前期と同額

#### 2014年度配当（予想）

経常利益 285億円  
当期純利益 200億円

円/株	中間	期末	合計
普通配当	11	11	22

過去最高値と同額

	2013年度（事故影響）	2014年度（予想）	2012～14年度平均
配当性向	30.9%	22.3%	28.2%

## おことわり

本資料は、投資判断の参考となる情報提供を目的としているものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。また、記載されている内容は、資料作成時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した内容を含んでおり、記載された内容を確認したり、保証するものではありません。

実際の業績は、様々な要因により、異なる結果となる場合があります。

お問合せ先：

株式会社日本触媒 IR・広報室

東京都千代田区内幸町1-2-2 日比谷ダイビル

TEL： 03-3506-7605

FAX： 03-3506-7598

URL： <http://www.shokubai.co.jp>